

【一般の部】 大会規定及び注意事項

- 1 7回戦で行う。(決勝戦のみ延長戦は9回までとする)
その後は、タイブレーク方式とする。(一死満塁・打順は任意)
- 2 コールドゲームは全試合適用する。(5回以降7点差)
- 3 ベンチは若い番号が一塁側、先攻は三塁側とする。ただし、準決勝・決勝は
トスにより先攻・後攻を決める。
- 4 令和7年度全日本軟式野球連盟規則を適用する。
- 5 各チームは試合開始30分前までに、本部までメンバー表を提出のこと。
- 6 打者・次打者・走者及びベースコーチはヘルメットを着用すること。(7個以上)
捕手は連盟公認(JSBB)、SGマーク付のマスク(スロートガード付)
ヘルメット・レガース・プロテクター・ファールカップを着用すること。
- 7 試合時間は1時間45分を過ぎて新しい回に入らないものとする。
(決勝戦については、この限りではない。)
- 8 ベンチに入れる人員は、監督を含む選手25名以内
チーム代表者1名、マネージャー1人、スコアラー1名とする。
- 9 球場、グラウンド内・周辺はすべて禁煙とする。
- 10 指名打者制(DH制)を採用することができる。
- 11 時間制の解釈について
 - (1) 試合時間は、当該審判員が管理し、試合開始時刻を通告する。
 - (2) 試合が制限時刻に達した時は、審判員がそのことを両チームに通告する。

【ケース1】

チーム	1	2	3	4	5	6	7			計
A	0	0	2	0	3	1				6
B	0	0	0	0	2					2

- ・ Aがリードの6回表に1時間45分が経過した場合
→6回を7回と置き換えて、6回裏の攻撃まで行う。

【ケース2】

チーム	1	2	3	4	5	6	7			計
A	0	0	2	0	0	1				3
B	0	0	2	0	2					4

- ・ Bがリードの6回裏 B攻撃中に1時間45分が経過した場合
→1時間45分を超えた時点で試合終了となる。審判員はその時の打者の打撃中に
その旨を両チームに通告し、この打者が打撃を完了して試合終了とする。